

## 第1回 武蔵野市図書館運営委員会の主な内容

日 時 平成25年10月28日(月) 午後6時00分～8時00分  
場 所 中央図書館 3階視聴覚ホール  
出席委員 伊野啓子 桂まに子 小林八千代 田丸直幸  
花村廣美 船崎 尚 松山 巖 毛利和弘

### 会議次第

- 1 委嘱式
- 2 教育長 挨拶
- 3 事務局 挨拶
- 4 委員紹介
- 5 議事

#### (1) 図書館運営委員会の運営について

事務局より、運営委員会の運営について説明を行った。

#### (2) 委員長・職務代理者 互選

委員長を船崎尚氏、職務代理者を毛利和弘氏にお願いをした。

#### (3) 武蔵野市図書館基本計画について

事務局より、武蔵野市図書館基本計画について説明を行った。

委員 新人の委員の方もいらっしゃるの、ここまでご質問などあればどうぞ。

委員 プレイスをいつも利用していますが、充実した良い施設だと思います。

委員 IT化によりインターネットが主流で、図書館でも実際に借りに来ることなくインターネットなどで借りることができる仕組みがあるようです。著作権の問題もあると思いますが武蔵野市ではどうしていますか。

事務局 基本計画P40をご覧ください。電子図書が図書館の中でも少しずつ導入され始めています。武蔵野市の計画に「電子図書の活用の検討」ということも入っています。現在のところは情報収集の段階ですが、今年度は先進市の視察などを予定しています。情報を収集しながら将来的には導入についても検討していきたいと考えています。

委員 著作権の切れた作品もあると思いますが、そういったものはすぐにでも導入できるのではないのでしょうか。法律的に難しいのでしょうか。

事務局 図書館で導入するのであれば著作権はもちろん解決すべき問題ですが、どのような形で提供していくのかというシステムの問題もあります。タブレット端末を貸し出すなど、国内でも少しずつ導入例が出てきているので、今後情報を集めながら検討したいと思います。

委員 今の話題はこれからの図書館の重要な問題だと思いますので、時間がとればそういった問題についても運営委員会でも話し合いたいところです。

委員 「将来像」の3番目を見て思ったことですが、子どもがきっかけで図書館に来ることもありますが、大人が図書館に来るきっかけというのはなかなかないように感じます。イベントや企画などで一度来ると良さに気付いてもらえると思うので、そういったところも考えていけたらと思います。

委員 計画の進捗管理について、「内部評価」が加わったことが進歩だと思います。これについて詳しい説明をお願いします。

事務局 図書館内部で毎年行っていた事業ごとの進捗評価は今まで資料としてお出ししていませんでしたので、今後はこちらも提示し、また今までの評価も見ていただきながらこれからの図書館について議論いただきたいと思っています。

#### (4) 平成25年度 武蔵野市図書館事業目標について

事務局より、平成25年度武蔵野市図書館事業目標について説明を行った。

委員 これについてご意見・ご質問をどうぞ。

委員 貸出・返却など、図書館も電子化され良くなってきていると思いますが、省力化として、書庫の本を選んで持ってくるというのは人手が掛かって大変な作業ではないかと感じます。せっかく本にはICタグなど付いているので、ロボットの導入など機械化はできないのでしょうか。

委員 大学図書館では「自動化書庫」が流行していますが、これは一長一短あります。自動化書庫は著者や書名などターゲットがはっきりしたものであれば有効に利用できますが、人が一切入れないので、調べる分野の書架に行って実際見て探すことができません。自動化すると100万冊の蔵書があれば60万冊が死蔵すると言われています。自動化書庫で一番良いのはタイトルや巻号がはっきりしている雑誌です。いずれはそういう時代が来るとは思いますが、一般の本では書誌データがバーチャルで実際本を手にとった時と同じようになれば有効ですが、現状では厳しい。コンピューター検索自体も意外と難しいので、導入されてきてはいますが、そこに問題点があります。

事務局 公立図書館では府中市などで導入しています。業務の省略化としては有効ですが、委員のお話のとおり実際に職員が書庫に入れられないことがデメリットとなっているようです。武蔵野市の中央図書館は書庫の本が増えているので、職員の手間の問題は確かにありますが、予算の問題や自動化により死蔵本が増える可能性もあります。今後情報収集をしながら研究を進めたいと思います。

#### (5) 今後の予定について

事務局より、今後の予定を説明。

委員 基本計画自体の修正や見直しは毎回行わないのですか。

事務局 計画の将来像自体は10年を想定しているものなので、この大きな変更はありません。将来像に向けての施策・事業の部分が重要と考えているので、

これを見直す中で例外的に計画の見直しを行うことは想定されます。

委員 今5年経ちましたが、10年という期間は長いので、時代に合わせて要望があればマイナーチェンジが必要となることもあるのではないのでしょうか。

委員 図書館基本計画の見直しの必要性の検討の中で、今日話題に上がっていたIT化なども含まれてくるということですか。

事務局 計画を作った時点と図書館を取り巻く環境は変わるので、それに合わせて施策の見直しを行う中で検討する必要はあると思います。

委員 26年度の目標は決まっているので、目標に向かっていく中で、27年度目標案に繋げていくということですね。

## (6) その他

### ① 日程

次回日程は、2月3日(月)午後5時30分から中央図書館と決まった。

### ② その他質問事項

委員 プレイスの評判について教えてください。斬新な施設なので見学者も各地から来ていると思いますが、いかがでしょうか。

事務局 プレイスは年間70万人の来場を予定していましたが、24年度はこれを上回る150万人が来館しました。これは図書館だけでなく市民活動、生涯学習、青少年の4つの機能を合わせた数字です。予想を大きく上回る来場者のため、対応が厳しい状況ではありましたがスタッフが頑張ってくれました。図書館関係の視察以外も合わせて年間80~100件の視察を受けました。多い日は一日に3件視察の対応をするときもありました。図書館としては分館ということもあり、図書館としての敷居を低くした施設になっていると思います。いろいろな方が気軽に寄れる雰囲気があると思います。利用者の意見としてはまだしっかりと把握できていないところもあるので、今後プレイス独自でアンケートなどを取って自己評価をしていきたいと思いますが、運営委員会でもぜひプレイスについてのご意見を頂ければと思います。

委員 時々プレイスにも行くのですが、土日祝日など自転車があふれているようです。来館者が予想外に多かったからだとは思いますが、なにか対策はしていますか。

事務局 24年7月に近くに2時間まで無料の駐輪場ができましたが、土日などはまだ駐輪のために並んでいる方が多数いらっしゃいます。プレイスの自転車置き場としては、施設建築時に付置義務を満たす台数を確保していましたが足りず、開館後100台程度増設しています。これ以上施設として増やすことは難しいので、与えられた資源の中でどのように運営していくかが課題です。

運営部分としては、中央図書館と吉祥寺図書館は市の職員による運営をしていますが、プレイスは指定管理者制度を採用し、事業団が運営しています。図書館の運営の形としてはそういったところも見ていただきたいと思います。利用者の面では、プレイス開館に伴い、登録者の少なかった境地区・境南地

区の割合が大きく増えています。

委員 職員が相互のことをよくわかっていないように感じたのは、運営が違うからですね。パソコン席の貸出方法も違って、中央はその日の新規利用者を優先していますが、プレイスは機械なのでいくらでも延長して借りることができてしまいます。その話をスタッフにすると中央のやり方を知らなかった、ということがありました。

事務局 おそらく市民活動のスタッフが対応したので詳しく知らなかったのかと思います。ただ、中央は席が少ないので人で管理していますが、プレイスは50席以上あるのでシステムで管理しています。問題点については今後改善していきたいと思います。

委員 運営形態としてはこの先2館も指定管理等に変わるという話がありますか。

事務局 検討事項としては上がっていますが、方向性としては現時点では決まっていません。図書館という施設の機能を十分に発揮させるにはどういう人が関わるのがベストか、というところが関わってくると思います。

委員 プレイスも図書館部分の方は専門的に図書館サービスをやっているようで評価したいと思います。ただ利用者が増えてきて大変なんだということが我々にも見えてきたという印象です。3館とも指定管理になってしまうとついていけなくなってしまうのではないかと思いましたが、近々にはないようでした。そういった話があったらここでもぜひ伝えて欲しい。武蔵野市の議員が武雄市などの図書館を見に行くと聞きましたが、議員と図書館との関わりは何かあるのですか。

事務局 市議会文教委員会の行政視察として武蔵市図書館や伊万里市図書館を視察しています。図書館に興味を持ってきている議員もおり、厳しい意見もいただきます。

委員 武雄市だけでなく、市直営で運営しているオーソドックスな図書館の伊万里市を見に行っただけで評価したいと思います。

事務局 文教委員会の中でもいろいろな考え方をもっているようです。ただ、武蔵野市の議員は図書館に興味を持つ方が多いようです。今回の視察では台風で行けなかったところもあったようです。

委員 外からの評価になりますが、武蔵野大学の学生をプレイスへ見学に連れて行くと、青少年スペースなどいろいろあり、「思ってもみなかったところ」という感想がでできます。地域館で雑誌を600タイトル所蔵しているところはなかなかない、などおおむね良い評価がでできます。

委員 サークルに所属しているのですが、ギャラリーで展示会をしたり、フォーラムで講演会をしたり、地下で気功の講座で、いろいろな形でプレイスを利用しています。いろんな活動でプレイスへ行き、そこで図書館も立ち寄ることで、そこから図書に興味を沸くのかな、と思います。